

2月23日の発表会はいかがでしたでしょうか。毎年1月の末から発表会の練習を時間割りに入れて準備を進めるようにしています。途中5・6年生はスキー教室がありますが、子どもたちがどちらも頑張ることができるのが素晴らしいです。発表会での6年生代表の挨拶に、発表会は小学校で身につけた「意志・表現・感謝」の3つの心の集大成とありました。まさにそれは私たちが日頃から思うことであり、この気持ちが子どもたちに伝わっていたことを嬉しく思いました。

発表会でも見られる子どもたちの笑顔や生き生きとした姿は、子どもの内面から湧き出してくるものでしょう。それは、物事への意欲であり、そういう取り組みができることを嬉しく思う心と感謝の心が表現されているものでしょう。子どもの笑顔と生き生きとした姿を求める私たちは何をすべきか、目の前にいる子どもたちの心の動きを感じ取りながらこれからも子どもたちと共に過ごしていきたいです。

## 【すなおな心からのひとこと】

朝の掃除をしながら校舎を回っていて、2階男子トイレにティッシュが詰まっているのを見つけました。何人かの子どもたちもそれに気づいていたようでした。それを取るために、1年生の男の子に事務室から割り箸をもらってきてもらいました。私が詰まっているティッシュを箸でつまんで取り除いている様子を横にしゃがんで見ていたその男の子は、「こういうことしちゃいけないよね」と言ってくれました。誰が入れたか分からないティッシュでしたが、その子には、どうしてそういうことをしてはいけないのか、誰かがしてしまったことを他の人がこうやって片付けているということがしっかりと理解できたのではないかと思います。たった1、2分間のトイレでの出来事でしたが、とても貴重な時間を過ごしたような気がしました。

子どもと一緒にいるのは容易なこと、でも、子どもの心と一緒になれたと感ずることができるとはそう毎日あることではないかもしれません。今日も学校で、子ども同士、子どもと教員の心のふれ合いはきっとたくさんあったことでしょう。いや、そうであると願っています。

## 【通勤途中で見かけた光景から】

あるマンションから小学校低学年の子どもとその父親が出てきました。それぞれ学校へ、会社へと出かけるときだったのでしょう。でも、子どもがなかなか前に進みません。数メートル前にいる父親は手を目に当てて泣いている子どもに何か声をかけているようでしたが、あまり時間に余裕がないのか先を急ぎたいような雰囲気を感じられました。子どもは「お父さん。僕が言いたいこと聞いて！」と訴えたかったのかもしれない。

父親は仕事に行かなければならない、子どもも学校に遅れるかもしれない。そういう状況の中で、トラブルがあっても、親も子どもも我慢をしてその場を乗り切らなければなりません。どちらもつらいでしょうね。

さて、私がここで心配になったのは、子どもはそのときの感情を抑えて学校に行き普通に生活したとしても、そのときに思ったことをあとでちゃんと親に話すことができているのかということです。親も子どもが笑顔で帰ってきたら朝のことを敢て話題にすることはないかもしれません。我慢したことで表面的には解決したように思われるけれど実は少し忘れることができただけで本当の解決には至っていない。忘れてしまうことも一つの解決なのかもしれませんが、そういうことが蓄積されていったら心配になってしまいます。

親も子どもゆとりのない生活の毎日だとすると、どこかに無理ができてしまい、それが子どもの成長に何らかの影響を与えることも考えられます。

子どもたちの毎日の生活において大切なことをここであげるとすると、食事・睡眠・家族との会話の3つを思います。健康な身体を作ることと心の安定のためにはこの3つのことがら一つとして欠くことができないものでしょう。子どもたちは毎朝きちんとご飯を食べていますか？愛情のこもったお弁当を残さず食べていますか？大人の生活のペースに合わせてしまって寝不足になっていませんか？家族の会話の時間はありますか？会話しながら笑顔になっていますか？一般的には意識しなくても当たり前のようにできていることでしょう。でも少し振り返ってください。この当たり前がちゃんとできているかどうかを。

## 【表彰】

朝会でいろいろな大会、コンクールなどで賞をいただいた子どもを紹介し、みんなの前で表彰することがあります。表彰された子どもたちへの拍手は「よかったね、おめでとう」という気持ちのこもった温かいものです。数日前に「先生、今度ぼくが表彰されるようなものは届いていませんか？」と聞きに来た子がいました。自分を認めてもらいたい、ほめてもらいたいという気持ちは誰にでもあります。そのとき私は「今先生のところには届いていませんが、あなたは今年どんなことを頑張りましたか？」と聞いてみると、「僕はサッカーを頑張りました」と答えてくれました。「それなら、クラスみんなに自分が頑張ったことを一つ伝えて、みんなから賛同してもらえたら担任の先生に表彰してもらおうというのはどうでしょう」と提案すると、「やってみます」と言って元気に部屋を出ていきました。その後どうしたかは聞いていないのですが、素直な子どもらしい心にもふれることができました。そういう子どもの気持ちを大切にしたいです。